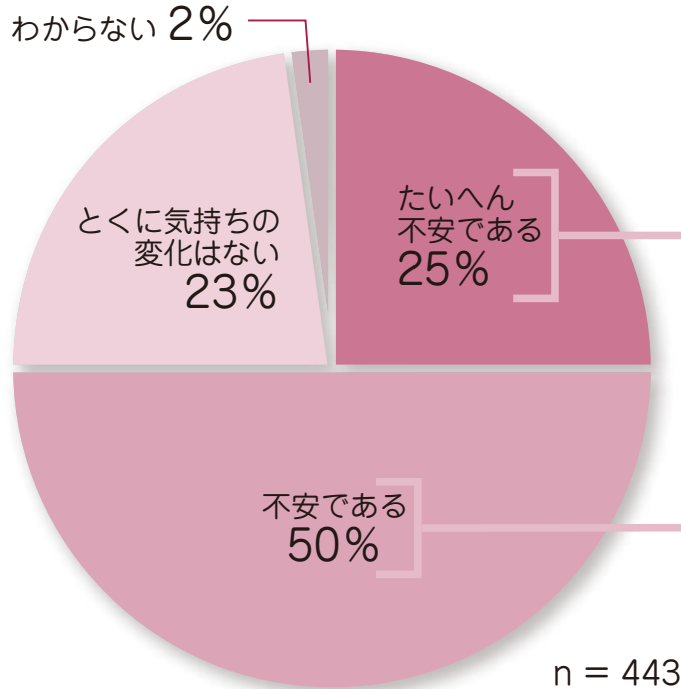


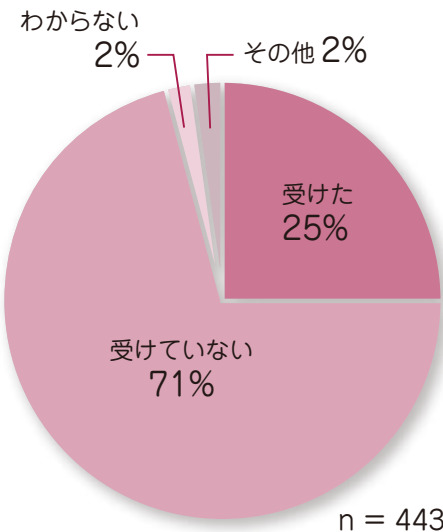
糖尿病患者さんに聞きました

Q. 新型インフルエンザ流行に対して、 どのようにお感じになりますか？



医療スタッフと同様、「たいへん不安」、「不安」を合わせて75%の患者さんが「不安である」と回答しました。「不安」の原因は、毎日のようにマスコミで報道される「ワクチン不足」や「重症化」、「死亡率」、といったキーワードに影響されているところが大きいようです。なお、「糖尿病

Q. 通院する医療機関で、糖尿病と新型インフルエンザに関して情報提供は？



を含む基礎疾患のある患者さんは重症化しやすい」との情報について「知っている」と回答した方は99%と、ほぼ全員。医療機関からの適切な情報提供や指導が求められるなか、患者さんの7割が糖尿病と新型インフルエンザに関して情報提供を「受けていない」と答えました。

ご意見欄では、ワクチン接種に対する心配、医療機関の情報不足などが多くを占め、「ワクチン接種の優先順位など、情報はマスコミを通じた報道からしか知るすべがない」糖尿病患者は基礎疾患のあ

Q. 新型インフルエンザ流行後、日常生活のなかで下記のような変化はありましたか？

(複数回答可/n=443)

- 手洗いをこまめにする……………71%
- うがいをこまめにする……………55%
- マスク着用が増えた……………43%
- 人混みを避けるようになった…37%
- とくに行っていない……………15%
- 掃除や消毒で室内をきれいに保つ…13%
- 血糖コントロールを以前より良好に保つ12%
- その他……………1%

Q. どのようなことに不安を感じますか？

(複数回答可/n=333)

- 重症化の意味、死亡率など……………66%
- 糖尿病への影響……………49%
- 予防ワクチンの接種が受けられるのか……………38%
- 感染したと思った際、どのように受診するか……………35%
- 他者を感染させてしまわないか……………21%
- ばくぜんとした不安……………12%

る患者とひとくりにされているが、何をどの程度気をつければよいのか具体的な情報が知りたい’等、不安の声が目立ちました。

●コメンテーター●

鈴木吉彦 (財)保健同人事業団診療所 所長、
日本医科大学客員教授

ワクチンを接種していても発病することはあります。ですから糖尿病の場合共同生活者が発病し、感染の恐れがある場合にはノイラミダーゼ阻害剤(タミフル、リレンザ)の予防投与が保険診療下で認められると助かります。今は自費診療ですのでかなりの負担になってしまいますが保険がきけば多くの方が予防治療を受けられるようになります。来年はノイラミダーゼ阻害剤が4種類に増え、より対応し易くなります。インフルエンザで高血糖に陥りやすい場合を考慮すると、予防投与の出来ることが強く望まれます。